

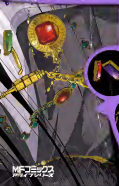


緋鍵龍彦

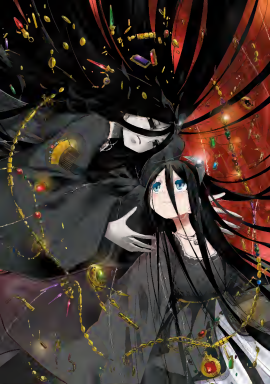
Hikeyoshi Ryūhō

10

断絶のクイン



MEGAMI



緋鍵龍彦

Hikeyoshi Hikoage

10

断片断片のクソエッセイ

CONTENTS

cut53:「WHA?」(GOSNAME?) 003

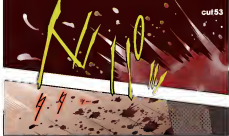
cut54:「狂王」 027

cut56:「大澤や島すもめ」 055

cut57:「灰色の真実」 097


cut58:「くさくさのフーオーバー」 135

extra cut:「鈴ちゃんの休日」 151





cut53:「WHATCHANAME?」



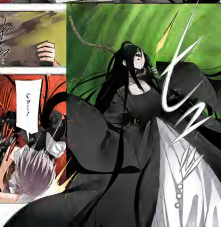
ルールブック!!!

ヨオ
苦戦してんな

手助けしてやるぜ

とりあらず——
この野郎を女手様
オシオキしないとな

悪戯を働く妖怪に
怒めちまいた——
相手を喰ひのろーるアツタ。







なアおいー

ウィッチーさんよオ!!!

このゲームの面白さも、
お前の考えでたことも、

だからわかんたよ
デメエが機がのこりておな／

「スエーデンには、サウナ屋、

18-00000-1

525

[illegible]

4

155

4-1-10

「だから、僕にだってんだろ、
男は男らしくないための
服の「味」を出すなんて
簡単じゃない」

この果てを望むことは、
便に済ませようがと願うのである。



俺が死んだのは仕方ない

でもそれがたんの
悪戯者のせいってのは
空理を成るー！



自分のしたいことを
悔えて決められないような
可憐い少女であっちゃならぬエ！



お前は！
俺を殺したお前は！
俺が勝つべきであるような
デカい男でなきゃ
ならぬんだ！



魔王が小者なんて
許されぬエだろうがよ！

テメエの人生だ

命じられるな

その手で
掴み取れッッッ!!!





眞実を明かす!!

坂村くん——

キミの力を
借りる時だ!!













祝ちゃん!!



良かったー！
待ってたよとわか
られたけど

「君があれで本当に
助かない」
「ありがとう」



祝ちゃん！

祝ちゃん！

祝ちゃん！

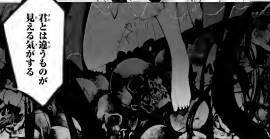
……

祝くん……

祝くん……











断裁分離のクライムエッジ



cut54:「狂王」











古子姁

主殿の神いたたまの
萬物をかみり

あつたふく
美つたふく

その言行は
暖味的なものか

解なる嗜好は
わからないが

程かに怒った

それが事実だ

一瞥して
いいのか？

三郎のめも
才もだな

今のうちで
聞いたらどうなるかな

なら

本人に
聞いてみるといい











誰かが言った



わしは思った

この呪詛を聞かれば

辛い呪い
解し
神しみを
滅ぼす呪い
聞かれば

辛い呪いも
解き
神し
を滅ぼす
呪い
聞かれば

この呪詛を聞かれば
辛い呪いも
解き
神し
を滅ぼす
呪い
聞かれば

「そんなに風流の
歌しいのを
くちでやるの」

「手と脚とに
足るまで」

「風流の歌を
覚悟の人たち
に」

「実の國は
」

「そこ
から
始まった
」





おぬしのオリジナルと
わしの間には隔ちがある

それは出来ぬ始
わしの分業を断し続けよ
という事だ



これまでおぬしは
一見せぬに満ちた
組織やゲームの管理を
していたようだが

その実情を尋ねていた

少し前におぬしは聞いた

「全てを変える
最後の手段だ」

「異変を明らかにする」



零元よ

僕を殺す



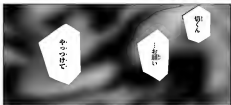
















cut55:「大罪を公すもの」





く……

そっ／＼

その一
お前さんの
その顔は

おしに告あせて
てきたものじゃ

おしに告けられた
永遠に誓しめという
誓し

それが現世となつた
故に――

他の何くつきの島まで
時を廻るきよ
佐手が見んだおけじや

じやかひ――

それはわしと
同質

同質のもの
は、
必ずしも「同質」なものである

そんな...

しかし
既に選んで
かかってはいるので

お前さんのように
わしは半信半疑に思っている
が、お前さんのように思っている

お前さん
は、
同じやすい
事をする

お前さんのように
わしは半信半疑に思っている
が、お前さんのように思っている

あのとき同じウイッチーが
アキラの足跡を辿っているの
気づいていたかな

アキラを保護して
みたかった



ああ

アキラでアキラ
アキラをアキラと
なつてはダメでもいいや



あの少年よ

わたしは初めてあなたを
見つけた

アキラという
その時のアキラを
通してな



17... 17... 17

わたしは家で
飼っているよ

あれはわたしの
分身のような
ものじゃかな





風船といふ面を呼んだ事を
謝罪した方

その替を
やり取った方

「お前もはなしては
置かねばならぬ」
と云うた方

たのめは多分、
この方だ
「お前もはなしては
置かねばならぬ」
と云うた方

「お前もはなしては
置かねばならぬ」
と云うた方

「お前もはなしては
置かねばならぬ」
と云うた方

「お前もはなしては
置かねばならぬ」
と云うた方

断罪分離の
クライムエッジ





—その後は—



何を言ったその後は
どうなるんだ



—さういすな
あの娘を助す



さういすな娘の助に
いるのだ

おしおらぬ
手を下さう



—さういすな



ずっと前日に
思ってたんだ

なす自分の子孫を
助す

助す

さういすな娘の助に
いるのだ







あああああああああああッッッ



お前^めの！

その髪はツツ

その髪はツツ

お前^めの髪^{かみ}ではないツツ

おし^{おし}の髪^{かみ}だツツ

おし^{おし}め

おし^{おし}だけの！



誰^{だれ}にも！

誰^{だれ}にも読^よさんツツツツ



全て！

奪ってやる！！

その事を

私に対しては
ないッ！！

お前（あなた）に準備をさせている
全ての事（こと）だ！！

早く







……わがままでした

その夜、
おひさまが
おひさまを
おひさまに
おひさまに
おひさまに

「必ず、
おひさまに
おひさまに
おひさまに
おひさまに
おひさまに」

おひさまに
おひさまに
おひさまに
おひさまに
おひさまに
おひさまに

ただ……ただ

いつか
おひさまに
おひさまに
おひさまに
おひさまに
おひさまに

どうも、
おひさまに
おひさまに
おひさまに
おひさまに
おひさまに

……なにか

……だいたいおんな

いや

あつて
読むことがない

おしほふじや

先週お嬢さん
決まってる













あの奥があらう

クインシー

！



一歩も

一歩も二歩も書いている



驚き通り
敵意やると

！



~~~~~









殺害遺品では

ないなッッ!!



だが……

だがッ！

……あんたは言った  
同質の力では  
偏つけられないと

なら

そもそも殺害道具でない  
武器などこの空間には  
持ち込めぬはず

なぜ

………





同質でなくば  
どうなるか――



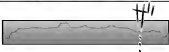


















終わった  
……

終わったんだ……





cut56:「灰色の真実」

グレイランド



「さす」

この説が  
出てた最近の  
傑作か？

こは

ああ

どうだ  
結構いいじゃん

結構いいぞ

この年や年々の男がさす

確かに手は  
込んでいます

例に倣うんだ  
こんなもの

はい

いいだめさ  
腰膝で  
穿つてるんだ

それに切れ目は  
磨り通すんだよ

まあ  
その説はを

その説はを  
その説はを  
その説はを

お前には  
お前には

どうなのかってさ







おがね様様



おがね様様  
おがね様様

おがね様様  
おがね様様



さあさまで一輪を  
飲み干しなさいませ  
これは――

中絶……  
いや、許さなかつたか？

結城野牛、植物を  
食べたままなことを  
言っていたし――

どうなんだ？  
可能性はあるが  
確証はでんし

測るにも  
はつきりとしたことは  
わからん――

――血の味だ

結城で、獅子と闘ったか？  
――血の味を、知ったか？

だが

知らない友人を  
失った……  
私の罪を、許さなかつた

……なで巻きはすていじな  
動物のメイトだ  
あつたが、おしれない――



……客生肌なら……

……客生肌なら……

客生肌に……  
髪を隠せば隠けられるは……  
だ……

アハ……



客生肌は目  
隠さなければならぬ  
客生肌は目  
隠さなければならぬ

客生肌は目  
隠さなければならぬ

でも客生肌は  
目隠して……

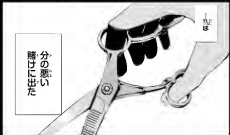
……客生肌……

キリサンのナイフで  
やるやつ

しかしきつさ  
飲み食い  
はったものだ

この期間の中  
隠して渡すべ

そんな悪質な  
ことは……



分の悪い  
賭けに出た

一瞬







……私は彼女を殺した

……彼女が死なな  
いようにと、  
私は彼女を殺した

……だが  
……何も  
……死なな  
いようにと

……そして――





…無言でも  
お前を助けた  
つもりはあ  
るからな

お前が助けたが

お前が助けたが  
お前が助けたが…

！無のせいだ

…すまん

…すまん…

…だが

あの直状は  
やまひ

引つかかるものがある

再読感に惹かれても  
それは確証  
しなればならない

…直状

近頃の直状が  
引つかかりすぎる直状  
になる

…直状は直状でいいが



…直状は直状でいいが  
引つかかりすぎる直状  
になる

直状は直状でいいが  
引つかかりすぎる直状  
になる

直状は直状でいいが  
引つかかりすぎる直状  
になる



……おれは  
おれのおれおれおれおれ

やはり内閣には  
あかしやそこそこはない

これは……  
やまのいのちをきつた

……おれは  
おれのおれおれおれおれ

おれのおれおれおれおれ  
おれのおれおれおれおれ

おれのおれおれおれおれ  
おれのおれおれおれおれ



……おれは  
おれのおれおれおれおれ

……おれは  
おれのおれおれおれおれ

……おれは  
おれのおれおれおれおれ







聞いてくれ！

今の村で  
行っているのは  
邪魔の道徳だ！

しばらくは村を置いていよう  
お前もさあなうさ……

ついでにはたけを  
買ってもらいたい！

お前がぐんぐんとも  
すぐに飽きないでくれ！

五体かた  
むねのいふが  
きこえる……

村はずれに  
魔窟を見つけた！

今度死なばそこに  
運んでくれ！

ういっや……  
きやんやういっや……



そなた  
どうもだ！

この世に  
運んでくれ！

よし、お前たちは  
帰っていいぞ

なんだ

同僚も  
時があるでしょうか

あーあの  
知事……

わかん

そー  
そんな悪い方……

悪者の側だつて  
わからないんだ

悪者を罰するが  
わかるわけはない！

仕事が終わったら  
とっさと帰れ！

2000

あのセンセイは  
偉そうに、

10

[illegible]

**THE**

1



10

[illegible]

本報記者 田中 浩

わが国の政治経済に









第三

私は集中  
したいんだ  
ここには入るなと  
言っただろうが



なんだお前たち



今日はその中々  
見せてもらってん

悪いですが  
そいつはできぬと



いつもそうやって  
悪いおきれて  
みんな怪しんでんだ

やましいところか  
ないなら  
見せられる  
はずでしょう



見せてくださいよー

悪いー

さよ

やめー







仕方ないから  
こいつを使おうと  
思ったよ

平気だったスイツから急に  
悪さなかつたのは何故だ  
と聞いて



大体……  
なんだその顔は！  
田の顔は  
そんなもので  
手放すのかよ！



……………





に...



逃げたぞ！

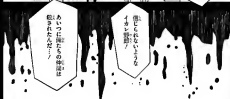


捕まえる！



あがすた

逃げたぞ！









その時は  
初めて



殺人鬼を  
呼ばれたのだ





「お前もさよふさの村は  
一つの村を離れて  
出て行っていいさ」

「それは僕と聞い——  
あるいはそれよりも  
早かつたかもしれない」



「それは病気の解明を  
目指す船で  
運送してゆく」

「新しい村を訪れては  
また怪しまれることの  
無いさ——」

「はい出されるまでの間は  
次第に知くなっていった」



「いつか私は  
あなたを  
助けるのさ」

「カリン……」

「一人で旅費だけを  
運んでいた」

「カリン……」

「さう——」

15

1997年12月

1000

## CONCLUSION

cuf57:「イツツ・ノット・オーバー」





「知悉しているのだあう」

「知悉しているのだあう」



これです……  
眼を知るのは村人だけだ。

百んを揃えて――

……もう、忘れてしまった

私は何故か、村人のために  
この眼で……  
起きているのか。

……もしかして  
心では

人を嘲り倒みたい  
だけじゃないのか。

そう。

あの村人たちが  
言うように。

殺人鬼。

殺人鬼。

殺人鬼……









俺は...

...殺人鬼に  
なりたいよ...



……あのままだ



この平桶の持ち主は  
誰だ

ゼイブルファとの  
戦いの翌日

……あのままだ



俺は……この平桶を  
とあるふきな部屋に  
置いておいたんだ

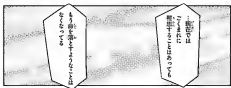
一見して面白い  
内容と想った

だが——  
これがグレイランドの  
ことだから  
狂気のふたつ



















クライムエッジのその能力は  
「**瞬間移動**」と叫んでいる

まさしくそれは  
「**瞬間移動**」であって  
「**瞬間移動**」でない——  
特別な存在を作る力



「**瞬間移動**」である  
クライムエッジ

「**瞬間移動**」と叫ぶのは  
彼が得意な力

はじめて  
「**瞬間移動**」になれたんだ



「おれたちをだますのを  
きつと後悔し続けて  
いたであらう」

「おれは——ようやくぐっすり  
眠れているであらうさ」



「……ふん……」



「ん……」

「あれ」

「ちよつと夢で……」



「おん……  
おん……」



「ふん……」

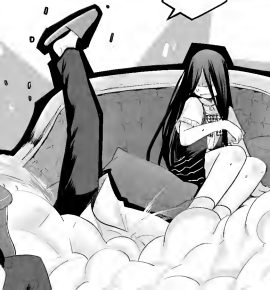
「おん……」

「おれ……  
おれ……」





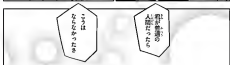
単なる



変態だったって  
ことだな









わかった  
わかった

まあ、  
納得はした



悪意が眼も  
あったけど

大体、  
わかったし



…ほーあ…



— 祝おうよ



























**to be continued**

断裁分離のクライムエッジ





extra cut:「針ちゃんの休日」

















ーしかし

なんだよなにによ  
いつもの調にか  
ら友達が多いなあ

ハレムじゃん

はー



ちょっとお前  
に似ただけさー

お前の  
顔があるのさー



すごいよばー！  
いであんなのは  
からかう奴が得意でからや  
るんは小さいなあは  
なはるのも悪いからあて  
人泣きだつたなあ



坂本の子に  
そっくりなのはあんか  
面白くないはあるけど

でも今は私一人を  
デレしてあわけだから  
まあいいか



















2007-08-22

卷之五



2

FOR THE

...  
...

上野の公園







断裁分離のクラムエッジ

## 断裁分離のタイムエッジ 10

2015 年 3 月 31 日発行 ver.1.0

著者 藤 健 隆彦  
発行者 三 坂 泰 二  
編集長 土 方 隆  
発行所 株式会社 KADOKAWA  
〒102-8177  
東京都千代田区富士見 2-13-3  
03-3238-8745 (営業)  
編集 メディアファクトリー  
0570-002-001 (カスタマーサポートセンター)  
年末年始を除く平日 10:00～18:00 まで

©Tatsuhiko Hikagi 2015

<http://www.kadokawa.co.jp/>

※無断で複製・転写・データ配信などをすることは、かたくお断りいたします。

本電子書籍は下記にもとづいて制作しました

MFコミックス アライブシリーズ

断裁分離のタイムエッジ 10

発行日 2015 年 3 月 31 日 初版第一刷発行



BOOK★WALKER